# 質 問 書

2023 年 10 月 20 日

ASEAN 共同体東南アジア ASEAN-JICA フードバリューチェーン開発支援プロジェクト（SPS 措置のための残留農薬分析能力強化）
（公示日:2023 年 10 月 11 日／公示番号　23a00676）について、質問と回答は以下の通りです。

| 通番号 | 当該頁項目 | 質問 | 回答 |
|---|---|---|---|
| 1 | 4.見積作成にかかる留意事項<br>(4)定額計上について<br>対象とする経費　2(p.42)<br>残留農薬、農薬製剤分析の実習 | 「残留農薬分析、農薬製剤分析の実習」とありますが、製剤分析も対象となりますでしょうか？ | 残留農薬分析の能力については、国ごとでそのレベルに大きな隔たりがあるので、国の状況に応じて段階的な技術支援を行うことを方針としています。分析技術レベルの段階としては、まず製剤分析、次に農薬に含まれる成分の単剤分析、そして最終的には多成分の一斉分析と進んでいきますので、当然のことながら製剤分析が行えないラボの施設、職員の能力では残留分析は行えません。<br>活動 2-1 で各国の現状を明らかにしたうえで、必要がある国においては製剤分析も実習の対象としてください。<br>なお、説明書の 42 ページには「第２章 第５条 ２.本業務にかかる事項 （１）活動 2-6」とありますが、活動 2-4, 2-5 の誤りですので、ここで訂 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | 正いたします。 |
| 2 | 第５条 業務の内容<br>２．本業務にかかる事項<br>（５）その他<br>④ ジェンダー平等を推進する活動<br>➢ ジェンダーバランスなど多様性の視点に立った実施体制を採る。また、事業対象者が各自のジェンダーによって参加が困難とならないよう、包摂のための工夫をする。<br>➢ さらに、データ収集の際は、ジェンダー別に収集・分析を行い、定量/定性的効果を可能な限りジェンダー別で把握する。成果やインパクトの発現状況をモニタリングし、問題が発生した場合は適宜対応する。 | ジェンダーバランスに配慮することの重要性は認識しますが、「データ収集の際は、ジェンダー別に収集・分析を行い。」は、本業務でも適用されますでしょうか？ | ジェンダーの要素が、成果やインパクトの発現状況に与える影響の大きさを考慮したうえで、可能な範囲でジェンダー別のデータ収集・分析に努めて下さい。 |